



国労西日本

国労西日本本部

NO. 350

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本 検索



植田執行委員長
新年の挨拶

全機関・全組合員・御家族の皆様、新たな年を迎えあげましておめでとうございます。昨年一年の「奮闘」に敬意と感謝を申し上げます。本日も代表して年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

2019年末から約4年におよび新型コロナウイルス感染症は落ち着いたが、昨年2月より行動制限の緩和、マスク着用の個人判断、5月には感染症法の「5類」「5類中」への移行、社会生活において様々な規制が緩和され人々の動きもコロナ以前に戻りつつあります。引き続き感染予防と健康に留意し、私たちが取り巻く情勢を切り開くため、要求の前進と課題の実現に向け力を結集し奮闘していく決意であります。

一昨年2月に起こったロシアによるウクライナへの軍事侵襲は長期化し、そして、パレスチナ自治区ガザを中心にハマスとイスラエルの攻撃が続いています。『武力』で『平和』が守れないことは明らかであり、即時停戦を求めます。一方、日本では軍拡や改憲に向けた動きも活発化し、2027年までの5年

間で43兆円の軍事費のために年金・医療・福祉などの削減と負担増による軍拡・増税への策動は、アメリカとともに『戦争する国』として更に進めるものです。私たちは、平和で安全な世の中、国民が安心して暮らせる社会です。岸田政権の「新しい資本主義」「新自由主義経済」に国民生活に大きな影響を及ぼしています。社会保障制度の充実、医療体制の拡充、真の経済対策、外交・安全保障、「政治力」の徹底説明、災害に強い基盤づくりなど国民が安心して暮らせる社会の再建が求められています。私たちは、立憲主義、平和的生存権を守り、戦争させないために専守防衛に基づき安全保障、非核三原則の堅持、憲法9条の改悪・集団的自衛権の行使を許さず、辺野古新基地建設の中止、核兵器廃絶、原発廃止、ロシアのウクライナ侵略はしめ武力攻撃を許さず、国連憲章に基づき対話による平和的解決、岸田政権が推し進める『戦争する国』の暴走を許さない闘いの年とすることを決意いたします。

JR西日本本社においては、コロナ禍の影響による鉄道利用者数の減少は感染拡大以前に回復しつつあることながら、構造改革に伴い徹底したコスト削減と施策の実施に取り組み、駅業務体制の見直しをはじめ各系統において検査業務の見直し、機械

化・システム化・委託化・外注化など「合理化・効率化」施策がより一層加速をしております。昨年は「墜落・感電・触電」と三大労災事故がグループ会社・三協労連を巻き込み重大労災死亡事故が発生をいたしました。JR会社が進めてきたコスト削減を目的とした業務の委託化、外注化、効率化による要員削減、過酷な勤務実態や技術継承の不足など、抜本的な改善を求めていかなくてはなりません。悲惨な事故を一度と繰り返してはなりません。私たちは、安全・安心の鉄道輸送の確保、労働条件の改善と健康で安心して働き続けられる職場づくりをはじめ賃金の切り下げを許さない立場で闘いを進めることが益々重要であります。

JR会社が発足し36年経過しましたが、政府から「公益事業」の指定を受けた事業であります。西日本会社は1キロあたりの1日の平均利用者が20000人を下回る1路線30区間の区間別収入を発表しましたが、本来は内部補助で行なうべきではないのか、JRがその使命や役割、極めて重要な社会インフラを担っていることは変わることがありません。鉄道は一度廃止されれば再開が困難です。地方交通線の存廃は地方・地域の将来展望に関わる極めて重要なことでもあります。「地域公共交通活性化再生法」が昨年10月から施行され、JR西日本会社は、「協議会」の設置を国に要請し、芸備線について、関係する岡山県・広島県はしめ4市が「協議会」への意向を表明されましたが、国が進めるにあたり責任を持ち、関係地方自治体をはじめ地域住民・利用者の意見・声を十分聞き入れられ、鉄道駅を基点にした地方・地域のまち

づくり、社会インフラの観点からも国民が安心・安全に社会生活が営めるように国の役割を果たさなければなりません。公共交通機関としての役割と鉄道の安全を確保するため、労働組合として取り組んでいくことが重要です。JR西日本による地方ローカル線廃止・大幅減便に反対し、地域住民の移動する権利と安全・安心の公共交通の確保に向けて、引き続き運動を強化するものであります。

2024年春闘では、JRグループ会社を巻き込むすべての労働者の大幅賃上げ、安定した雇用の拡大、会社間格差の是正、安全輸送の確保、労働条件の改善、非正規社員への正社員化、同一労働同一賃金、明るく働きやすい職場と生活改善を図るため、全国統一闘争で要求実現に向け全組合員が総団結・総決起し奮闘することが重要です。職場には多くの不平・不満が渦巻いています。労働者に話し訴え、「職場を良くしたい」「働きやすい職場にしたい」という切実な声を大切に、職場を基礎に拡大への結び付きを強めていくことが重要です。組織強化・拡大の取り組みの総括から導き出された教訓を自信と確信に本部闘争指示に基づき、西日本本部として団結し最重要課題である組織拡大をやりきり次世代の仲間と繋ぐ決意であります。

最後、「平和で暮らしたい、憲法を生かし平和と民主主義を守る政治・社会への転換をめざし、職場・地域から全力をあげよう」とあります。西日本本部執行部は、闘いの先頭に立つ決意を申し上げます。組合員・家族皆様の健康と安心を祈念し、新年の挨拶といたします。

2024年春闘では、JRグループ会社を巻き込むすべての労働者の大幅賃上げ、安定した雇用の拡大、会社間格差の是正、安全輸送の確保、労働条件の改善、非正規社員への正社員化、同一労働同一賃金、明るく働きやすい職場と生活改善を図るため、全国統一闘争で要求実現に向け全組合員が総団結・総決起し奮闘することが重要です。職場には多くの不平・不満が渦巻いています。労働者に話し訴え、「職場を良くしたい」「働きやすい職場にしたい」という切実な声を大切に、職場を基礎に拡大への結び付きを強めていくことが重要です。組織強化・拡大の取り組みの総括から導き出された教訓を自信と確信に本部闘争指示に基づき、西日本本部として団結し最重要課題である組織拡大をやりきり次世代の仲間と繋ぐ決意であります。

24春闘に向けて意志統一を！ 職場の環境を良くしよう！



**安全・安心の為に共に声をあげよう！
労働条件の改善と大幅賃上げを勝ち取ろう！**

年を明けてテレビ等でも「春闘」と言う言葉を耳にしませんか。「春闘」とは簡単に言うと、「春季生活闘争」の略語で、労働組合と経営陣で行なわれる労使交渉のことです。例年2月～3月に行なわれるため、「春季生活闘争」と呼ばれていますが、賃金の引き上げやその他の労働条件の改善等を求めて交渉を行ないません。しっかりと要求を立てて交渉を行なっていない職場は少なくありません。職場で困っていることはないですか。皆さんの声を



受けて改善されることもあるのです。しっかりと声をあげることが大事です。黙っていても何も変わりません。皆さんの思いを労働組合へ伝えてください。

コロナ禍前に戻そう！

新型コロナウイルス感染症がら類となり、利用者も少しづつ戻ってきています。この間のいきすぎた合理化施策が労働者への負担となつています。利用者が戻りつつある今、人減らし合理化で大変ではないでしょうか。賃金も低く、品物の低迷で営業収入も低調となつていますが、労働者は変わらずコロナ禍でも感染リスクに晒されながら業務に奮闘してまいりました。

働く労働者の生活では、コロナ禍で期末手当は低額回答、物価高による生活苦であります。2024年春闘では、物価高を上回る賃上げを行なうように闘うことが求められています。

賃上げを行なえ！

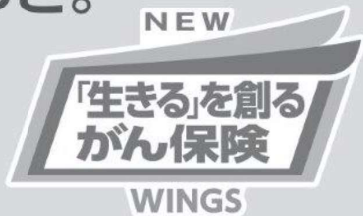
岸田首相は、政府と経済界、労働界の3者による「政労使会議」において、「上回る賃上げを！」と主張しています。会社もしっかりとこの声にこたえて頂きたいものです。

グランドシニアは希望者全員採用を！

この間、命を脅かす事象が相次いでいます。協力会社の死亡労災も発生しています。しっかりと技術継承が出来ていないことが明らかとなつています。シニア・グランドシニア社員は要員とカウントせず、技術継承していただくことが必要ではないでしょうか。働く意欲のある希望者は採用して助けてもらおうではありませんか。乗員不足解消のために、みなさん、声をあげよう！



がん保険にできることを、もっと。



No.1 アフラックがん保険・医療保険保有契約件数 (2023年1月23日サービス提供開始予定) 令和3年版 インシュアランス生命保険統計

1 幅広い保障で経済的負担をサポート

治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービス<アフラックのよりそうがん相談サポート<*(1)> (2023年1月23日サービス提供開始予定) アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート

「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(<https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>)をご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。



アフラック

東京第二法人営業部

東京都千代田区丸の内1-6-1

丸の内センタービル19階

TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

AFツール-2022-0277-2210030 7月13日

第194回拡大中央委員会
2024年1月27日(土) 10時
新橋交通ビル地下会議室
※構成員は前日から労働講座あり
第44回拡大西日本本部委員会
2024年2月3日(土) 10時30分
国労大阪会館 大会議室
(WEB併用)